



上越市立牧小学校 学校だより

第5号

2学期スタート号

学びの原動力 ～目標を見付ける、目標を共有する～



ウサギを飼うための3回目のプレゼンテーション

最近読んだ本*に、『教育を受ける人間の心には、学ぶことを通して充実した人生を送るための「学びの原動力」が必要である。人には生まれつき「学びを促す心のエンジン」が備わっており、この「エンジン」こそ、「学び」を引き起こす原点になる心のはたらきであり、「学びの原動力」である。そして、「学びの原動力」は、「目標を見付け、他者とお互いの目標を共有する」統合的な心のはたらきであって、一生にわたって発達していくもの』であるとありました。

1年生は、生活科でウサギを飼う学習を始めます。始めるに当たって、校長にその許可を得に来ましたが、「何のために」飼うのが不明で、2回NGを出しました。1年生

は、その都度話し合い、自分の「学びを促す心のエンジン」を動かしながら、見事にその目標を見付け〔命の大切さを勉強する〕、みんなで、自分でできることを共有する〔ウサギはしゃべることができないからウサギの気持ちになって世話をする〕ことができました。3回目のプレゼンテーションで、飼育の許可を出したのは言うまでもありません。正に「学びの原動力」を1年生の姿にみることができました。と同時に「自分の考えをもつ力」や「自分を表現する力」も順調に身に付いてきているなと感心しました。

1年生のみなさん、ウサギと一緒にたくさんのお話を学んでくださいね。そして、どんなことを学んだのかまた教えてください。

人を大切にする力 ～他人の個性の理解、人を受け入れる心～

2学期の学校経営戦略 ～人を大切にする力に焦点を～



01

いじめの未然防止実践研究パイロット事業
Project Adventure → 理論、実践
S.O.S の出し方に関する教育 → SC.T.T
生徒指導提要研修

02

他者を尊重し、話し合う力の育成
OPEN QUESTION → 上教大支援プロ連携

03

特別活動 ～なすことによって学ぶ～
意思決定⇒私と合意形成⇒私たちの体験
縦割り班活動の実践的活動

04

道徳科、人権教育、同和教育
「己の欲せざる所 人に施すこと勿れ」
居場所づくり

全校体制・創意・協働・創造
本気・本腰・本物



2

2 学期の学校経営で重点に置くところを「人を大切にする力」として、全校体制で取り組んで参ります。「いじめの未然防止実践パイロット事業」〔プロジェクトアドベンチャーの理念と実践〕や「上教大 学校支援プロジェクト」〔主体性と協働性と対話を重視し

た学級づくりと授業づくり〕を中核に据え、特別活動での実践的活動〔なすことによって学ぶ〕、道徳科、人権教育、同和教育での居場所づくりを行います。4 つの柱の実践を通して「人を大切にする力」を子どもたちを含めて、皆で考え、共に動き、創っていきます。

「身に付けたい4つの力」と「フワフワ言葉・行動」

人を大切にする力 自分の考えをもつ力

受け入れる 流されない

2 学期
どの力を
つけるか?

自分の言葉 やり直す

自分を表現する力 チャレンジする力

自分がされていやなことは、人にはしない。

フワフワこうどう
人からしてほしいと思っていることを人にしてあげる。

みんながしあわせ

始業式で「身に付けたい4つの力」を確認し、どの力を身に付けたいかを考えるように宿題を出しました。その答え合わせを全校朝会で行いました。全員がきちんと自分の身に付けたい力を表現することができました。

重点事項の「人を大切にする力」については、言葉遣いについて考えさせ、心が温くなる「フワフワ言葉」「フワフワ行動」を繰り返していけば、みんなが幸せになれる、幸せな牧小を創ろうと期待を込めて話しました。

自分の命を守るために ～保小中合同避難訓練～



3年振りに、地震を想定した保・小・中合同の避難訓練を実施しました。1次避難から2次避難へ、そして牧コミュニティセンターへの3次避難を教職員の避難指示手順を確認しながら行うことができました。東日本大震災で釜石市の児童生徒のほぼ全員が無事でした。この「釜石の奇跡」と呼ばれた陰には、普段から「率先避難者たれ」「最善を尽くせ」「想定に惑わされるな」の避難の3原則が子どもたちに根付



いていたためとされています。特に「率先避難者たれ」は『人のことは放って置いてもまず自分の命を全力で守ること。「必死で逃げる姿」が周囲への最大の警告になる』ということを示したと考えられます。

訓練後、5・6年生は、中学生と共に陸上自衛隊高田駐屯地の隊員から防災講話を聞き、被災したときの智恵としてのライフハック体験を行いました。

絵はがき教室 ～「ふれあう心」をハガキに託して～



地域おこし協力隊の方を講師としてお招きし、4年生以上の「絵はがき教室」を開催しました。子どもたちは、講師のご自身の経験と専門的な見地からのアドバイスをいただきながら、夏休みの思い出や好きな動物、好きな食べ物などを題材に身近な人に出す絵はがきを書き上げました。制作した絵はが



きは、「前島密とふれあう」ふれあいハガキの会主催の「ふれあいハガキ」事業へ出品します。ハガキを書くことは、人を思いやる心を育て、心の交流につながります。併せて、郵便の父 前島密の生誕の地に住む子どもたちの郵便への興味関心も深まることが期待されます。

上越教育大学教職大学院学校支援プロジェクト始まる。

今年度も2学期に上越教育大学教職大学院阿部隆幸先生とそのゼミ生4名から学校支援プロジェクトで「主体性と協働性と対話を重視した学級づくりと授業づくり」への支援をいただきます。子どもたちと院生さんの出会いがどんな化学反応を起こすか、楽しみです。

新型コロナウイルス感染症患者の療養期間について

健康状態に心配がない場合は、次のように取り扱うようになります。

(1) 有症状患者

発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過した場合には8日目から解除を可能とする。ただし、10日間が過ぎるまでは、健康観察を行う。

(2) 無症状患者

検体採取日から7日間を経過した場合には、8日目に療養解除を可能とする。

ただし、市（教育委員会）に事前相談の上、5日目の薬事承認された体外診断用医薬品の抗原定性検査キットによる検査で陰性を確認した場合は、6日目に療養解除することも可能。その場合には、学校は、その検査結果を撮影した画像等で確認する。

引き続き、感染予防にご理解とご協力をお願いいたします。詳しくは、9月2日配付の「新型コロナウイルス感染症に関わる対応について（お願い）」をご覧ください。

10月の予定

今後変更される場合があります

3日（月）読み聞かせ	18日（火）校内マラソン記録会
4日（火）県スクールカウンセラー（SC）来校	県SC来校
5日（水）6年生市親善陸上大会	19日（水）オンラインプロジェクトアドベンチャー
7日（金）「鏡の中のぼく」授業 市SC来校	20日（木）委員会
12日（水）5・6年生学校保健委員会 引き渡し訓練	21日（金）市SC来校
13日（木）1・2年生草木工作遊び （宮口古墳） クラブ	24日（月）全校プロジェクトアドベンチャー
14日（木）5・6年生同和教育講演会 新入生就学時検診	25日（火）1・2年生うみがたり訪問
	27日（木）小中合同給食運営協議会
	28日（金）小中合同文化祭りハーサル
	29日（土）牧区文化展 ～11/3
	11/3（木）牧っこ秋祭り
	11/7（月）振替休業日

見えないところが、本物にならないと 見えるところも本物にならない。

東井 義雄（伝説の教師）